

築24年の桜山斎場が、〇〇〇〇に！

1995年の7月に建てられた桜山斎場本館が、2019年の今、24年の時を経て生まれ変わります。

それがこちら、

「桜山斎場そらいえ」です。

“そらいえ”とは、一つ屋根の下で家族が心一つに最期のひと時を過ごせるようにと願いを込めて命名しました。

現在改装中、年が明けた令和2年2月10日にリニューアルオープン予定です。



リニューアル前の本館の写真がこちらです。



比べると、いかにデザインが一新されるのかがお分かりになると思います。

お葬式といえば大きな木製の祭壇をイメージされる方も多いと思います。桜山斎場本館にも檜(けやき)祭壇がありますが、リニューアル後は違います。生花のみで作った祭壇、生花祭壇がメインになります。平成に葬儀は大きく変わり、令和という新たな時代に、お葬式の常識がこうしてまた一つ変わっていくのを目の当たりにできます。

また、桜山斎場は2階建てでした。階段は高齢の方にとっては不便であるため、階段を無くし、一階のみにしました。

10~20名の家族葬を想定した広すぎない空間の中にもリビング、ダイニングルーム、和室、ベッドルーム、シャワールームも完備し、またどこにいてもお柩のすぐ近くで過ごせるように、お柩を中心に一体感を大切にしました造りになっています。



白を基調とした美しいデザインは最期のお別れにふさわしい空間造りを演出します。



家族葬は、単なる葬儀の縮小化ではありません。

家族の時間を大切にしたい、大切な方を心を込めて送りたいという気持ちの表れでもあります。

一緒に過ごす家族の最期のひと時、それをかけがえのないものにしたいという一心で、改装する様々なアイデアに想いを込めて、桜山斎場はこの度一新します。

生まれ変わる桜山斎場、その名も「そらいえ」です。取材宜しくお願い致します。